



か え で ゆ う び ん 6月号

2 0 2 2 年 6 月 1 日
社 会 福 祉 法 人 清 松 学 園
幼保連携型認定こども園 かえで保育園
園 長 引 地 美 津 代

ついこの間まで園庭の新芽が芽吹いた木々を眺めながら新緑の季節がやってきたとうれしく思っていました、あっという間に初夏に移り変わりました。毎日園庭で葉っぱや虫を追いかけて元気に遊んでいる姿に元気をもらっています。4月の終わりに植えたジャガイモにも花が付き、5月に植えたサツマイモは少しずつ根を張ってきました。毎年ですがキュウリやピーマン、そして子どもたちがなぜか大好きなゴーヤもたくさん収穫できるよう子どもたちと野菜を見守っていきたいと思います。

さて、今年ではできないと回り道をしていた毎日から何かできることを見つける…という思いで園の生活を模索しています。

5月中旬には2歳児以上のクラスではオンラインでの「保護者会」を開催しました。初めての試みでうまく進むだろうか・・・

と不安もありましたが、皆さんの顔を画面上で見たが、拝見出来、反省点はありますが何とか進めることができました。また5月末には0・1歳児の保護者の方とお子様と園の方針をお伝えしその後少しの時間でしたが園庭でお子様、保護者の方々と共にアート表現を楽しんで頂きました。今回の保護者会では2年間伝えられていない本来の子どもの姿や園での育ちをどうすれば少しでも多くお伝えできるか・・・随分考えました。思いは届いたでしょうか？

思い返せば、コロナが出てくる前では、保護者の方々と園庭でお子様の様子を見ながらゆっくり話したり、悩み相談をしながらお互いに励ましあっていたことが遠い昔のことのようになっていました。コロナという突然やってきた感染症に右往左往する毎日でしたが、怖がっているだけでなく、何とか打ち勝つ道を模索しながらすすんできました。

そして、1年足らずで予防接種ができ、感染症対策も様々な角度から行えるようになり、あれだけ探し回った消毒液やマスクも苦労なく手に入るようになってきました。これからの課題は集団生活を円滑に進めていくために、新たなルール付けを示していく段階に入ってきました。その一つが「マスク着用」です。保護者会でも少し触れましたが、マスク着用は必須とお伝えし、3歳以上児には室内ではできるだけ着用を進めていました。

コロナ菌もどんどん進化し、子どもにかかる病気に変化し「オミクロン株」は次々に子どもたちの感染を広げていきました。今後どうなっていくのか危惧していましたが、その間にも3回目の接種も進み、皆が少しずつ免疫がついてきたのか、このゴールデンウィークを経ても昨年のように毎日怖くなるほどの増加もなく、過ごせています。人間の対応力の強さも手伝いながら、やがて打ち勝つ日がそんなに遠くないような気がしています。

私たちの保育園の生活は厚生労働省からの通達→西宮の指導により提案してきています。それぞれのご家庭でそれぞれご事情も違われると思いますが、「子どもにとって今すべきこと」を考え提案していきます。

もう一つ、今年こそ行いたいと計画しているのが卒園生が「ふるさと」に戻ってきてくれる「同園会」です。

予定は6月18日（土）、3部に分かれて行います。小学生の間のみの会ですが、中学生も参加したい！！と言ってくれ、うれしいです。通常通りにはできないかとも思いますが、少しの時間でも思い出のある庭・築山・草花に触れて・そして恒例の貝殻アートも楽しんで過ごしてほしいと企画しています。もうはがきついているかな～



～ダンディ・かえでカフェ～

5月28日（土）15：00～17：00

本格的に行うのは1年ぶりとなりますが、卒園の保護者の方々もたくさん参加頂き楽しい時間を過ごせました。

かえでカフェ 7月1日（金） 17：00～18：00 （雨天延期）

ダンディ・タイム 6月18日（土） 15：00～ （小雨決行）

初夏を感じる季節となりました。「夏」になると子どもたちは「光・水・土」を使って思う存分遊びを満喫しようと朝からワクワクしています。

幼児クラスでは「外遊び」の中にもルールを決めて楽しんでいます。水遊びをするときの遊んだ後のシャワーの着替えの準備、帽子を被る、ケガや痛いところはないかのチェック、保育者同士が保護者からの伝達と子どもたちへの確認から始まります。

そして「朝のお集まり」では体調確認⇒今日の連絡⇒あそびのルールを聞く⇒準備などで1日が始まります。場合によっては次の日のことも伝えますがしっかりと聞いています。子どもたちのワクワク感や伝達事項などゆっくりと聞いてみて下さい。子どもの感じていること、新たな発見なども聞けるかもしれません。

先月の保護者会は、新たな取り組みでのオンライン開催や久しぶりの親子イベントを交えた会を催すことができ大変うれしく思っています。

まだまだ規制とお願い事が多く、不便を感じることもありますができることから取り組んでいきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

主幹保育教諭 藤森寿美

先日、テレビで“ジグザグ気温”との予報を耳にしました。気温が上がったり下がったりと、中々安定しない毎日の気温は、子どもたちの体調にも大きく影響しているように思います。

思いきり水や泥に触れ楽しむ日もあれば、それぞれの体調や気温によってはあそび方を考え、一日を心地よく過ごせる環境をと考えています。

“水”といっても様々な楽しみ方がありますね。水を浴び全身で心地よさを感じる他にも、雨上がりの外に出かけ葉っぱの先から滴る水の粒を見つけたり、水たまりに映る自身の姿に気付いたり、水が流れる行方にわくわくしたり…子どもたちの好奇心をくすぐってくれるとても有難い存在です。

5月は、かえで保育園で様々な栽培物の種や苗を植えました。

ひかり・だいち組は、お米の種粃（たねもみ）からお米作りにとりかかっています。お米を育て始めた子どもたちの様子を見ながら、“田んぼに沢山の稲が並んでいる様子を、見たことはあるのかな…”とふと思いました。

「おじいちゃんの畑で、大根ぬいたよ！」と嬉しそうに教えてくれる子もいますが、もしかすると畑や田んぼを実際に見たことがない子もいるかもしれません。

風に吹かれ、さわさわと音を立てながら波打つように揺れる稲の様子や、田んぼに水が流れ出る音など、当たり前だと思っていた景色もいつの間にか貴重なものとなっていました。

かえで保育園の中に作る小さな小さな田んぼも、生き物との触れ合いや自然の面白さ、心地よさを味わうきっかけとなればと思います。

主幹保育教諭 河本彩奈

～めばえぐみ～

ねらい：「のびのびと身体を動かして遊びを楽しむ」

うた：「あめふりくまのこ」「あくしゅでこんにちは」「ことりのうた」

わらべうた：「いちり」「オデコサンヨマイテ」

5月 は保育園での生活にも少しずつ慣れ、遊びの中や生活の中など色々な場面で笑顔が多くみられるようになりました。ハイハイが安定してきたり、つかまり立ちができるようになったり、日々の子どもの成長に驚かされています。音楽が聞こえると身体を揺らしたり、今まで興味のなかった玩具に夢中になって遊んだりする子どもたち。保育者に見守られている安心感の中で、好きな遊びを見つけてのびのびと過ごせることを大切にしていきたいです。

～大きなひまわりが咲きますように～

先日めばえ組では、ひまわりの種を植えました。栽培用の土は園庭の土とまた違った感触で、冷たくてさらさらしています。保育者がプランターに入った土を触って見せると、みんな興味深々の様子で、プランターの土をぎゅっと握ってみたり、優しく触れてみたり土の感触を感じていました。子どもたち全員が土の感触を体験した後、ひまわりの種を見せると、何だろうと種とにらめっこするかのようにじーと種を見つめる子どもたち。初めて見るひまわりの種を不思議そうに見ていました。

保育者が土に埋める時も、水をあげる時もよく観察していて、保育者が「大きくなあれ」と願いを込めながら植える姿を見て、まるで一緒に願いを込めるかのように手をぱちぱちと叩いていました。

この夏に大きなひまわりが咲くことを楽しみにしながら、これからひまわりの成長を見ていきたいと思います。



～いただきます～



めばえぐみの食事は、保育者がおひとりお一人の生活に合わせて、食事をすすめています。保育者がエプロンと三角巾を着けていると、「ご飯はまだかな?」「おいしそうだな」とじっと見つめています。準備が出来て、「〇〇ちゃんごはんですよ」と来てもらうととっても嬉しそうな顔をしてぎゅっと抱き着いています。はじめに手を洗い、席につくとエプロンを着けてもらうことも覚え、先生の「いただきます」に合わせて手を合わせたり、ぺこっとお辞儀をしたりしてくれます。保育者がスプーンを口に近づけると、あーんと口を大きく開けてパクリ。アムアムと口を上手に動かして食べることができています。始めはひざに抱っこ、自分で座れるようになったら一人掛けの椅子に座っています。食事の時間は、保育者もお子さまもゆったりほっこりする時間です。

“担任の思い”

これまで園庭では先生に抱っこをしてもらったり、バギーに乗ったり、緑のマットの上で過ごすことの多かっためばえ組の子ども達。毎日の園庭遊びを通して少しずつ、自分の興味のあるところや物へも向かっていくようになりました。玩具はもちろん、土や葉、泥にも興味津々です。砂場に行ったり、金魚の水槽を眺めたり、築山を登ってみたり、行動範囲がどんどん広がってきました。これから夏の遊びでは、水や絵の具も登場します。子ども達が出会う新しい世界を、一緒に楽しんでいきたいと思います。

ねらい：「虫や泥んこ草花など自然に触れて遊ぶ」

うた「あめ、てをたたきましょう」 わらべうた「トウキョウト、シッタラ」

長い休みが明け、少しずつ園生活のリズムを取り戻してきた 5 月でした。園庭で遊ぶことが大好きな子どもたちは朝の集いが終わると自分で帽子を被って準備をし、保育者の後をついて元気よく飛び出していきます。友達の遊んでいる姿を見て参加し一緒に遊んでみたり、幼児のお兄さんお姉さんの遊びを見て真似して遊んでみたりと友だちとの関わりも少しずつ増えてきました。園庭を歩き回り興味のあることを見つけていく中で、自分の好きな遊びを見つけて向かう姿が見られるようになってきました。これからどんどん気温が高くなる 6 月、水遊びや泥遊びなど全身を使ってダイナミックに遊ぶことや雨の日には室内でお絵かきやパズルなどゆったりと遊ぶことも取り入れ、それぞれに好きな遊びに取り組めるよう見守っていきます。

“ドットマーカ―”

手が汚れることが苦手な子どもも少しずつ絵の具に触れ、絵の具遊びを楽しめるようにとドットマーカ―（ペットボトルに絵の具を入れスポンジやガーゼで蓋をしたもの）をして遊びました。絵の具を水で緩めて、準備をしている様子を見て「なにをするの？」と興味津々だった子どもたち。遊びが始まると、絵の具で手が汚れることが苦手な子もお友達が遊び始めた様子を見て少しずつ参加していました。ぽんぽんとスタンプすることで色付いていく様子が楽しく、お友達と色を交換しながら何度も繰り返しスタンプして遊んでいました。色付くままにスタンプしていくと次第に色同士が混ざり合い不思議な色が出来ていきました。色が混ざる様子を見て不思議に思ったのか、思わず手で触ってみようとする子もいて、絵の具の感触や色が変化する不思議に気付いて楽しむ子どもたちの表情をたくさん見る事が出来ました。その後「どうしていろがでてくるの？」と言わんばかりの表情でペットボトルをじっと見てみたり力いっぱいペットボトルをつぶそうとしてみたり…。



遊び始めるまでは、なんだか乗り気ではない顔をしていた子も夢中になって、手を絵の具まみれにしながら遊んでいました。それぞれに考えながら遊んでいる姿を見ると、次はどうするのかなと私たち保育者も見ているとワクワクします。今回のドットマーカ―のように少しずつ様々な素材に触れて遊ぶ中でたくさんの不思議に出会い、興味を持って遊びこむ姿が増えていけるよう環境づくりをしています。

“お散歩に行くよ”

5 月は涼しい風が吹き過ごしやすい日が多かったので、少人数ずつに分かれて園の周りをぐるりとお散歩しました。バギーに乗り、保育者と手をつないで保育園を出発すると「はっぱ！」「ぶーぶーだ！」と園外の環境をゆっくりと見ながらたくさん指さし、お話しして楽しんでいました。大人からすると当たり前を感じる環境も子どもにとっては、一つ一つが大発見だなと感じます。6 月も天気の良い日にはお散歩に出かけ、園外の自然にもたくさん触れることが出来るようにしていきたいと思います。



“担任の思い”

お友達や幼児さんが遊んでいる様子をよく見ている子どもたちは、園庭に咲いている花や栽培物、ダンゴムシなどにも少しずつ興味が出てきました。見つけたことを指さして教えてくれる子もいれば「あ！」「これなに？」と言葉で尋ねてくれる子もいます。子どもたちの毎日の発見と一緒に楽しむ中で、様々なものに触れ、楽しいな、不思議だな、もっと見てみたいなどたくさん感じて遊んでほしいと思います。気温が高くなり、雨の日も増えてくる 6 月も、水分補給、体調管理をしながらたくさんの経験が出来るように計画していきたいと思います。

ねらい：「好きな遊びを見つける」「友だちと一緒に遊ぶことを楽しむ」

うた： かえるのうた・あめふりくまのこ・たなばた・あめ

新しいクラスにも慣れて友だちや保育者と一緒に遊んだり話したりする事を楽しんでいます。生き物に興味があり、毎日園庭では持ち歩きようの図鑑を手に持ち、築山の近くをお散歩しています。「これはちょうちょ」「これはダンゴムシ！」と指をさしながら確認をしている子ども達。また、夏に向けてキュウリとナス、向日葵の栽培を始めました。毎日園庭に出る前に、じょうろでお水をあげてくれています。「葉っぱ、大きくなったね」子どもの気づきを見逃さず、植物の成長を子ども達と共に見守っていきたいです。



“いぶき組とダンゴムシ探し”

暖かくなってきて、先月よりもたくさんの虫たちが園庭に遊びに来るようになりました。保育室に置いているダンゴムシの絵本が大好きなつぼみ組の子ども達は、園庭に出るや否やダンゴムシ探しが始まります。「どこかな」と探していると、いぶき組の子ども達が「ダンゴムシいるよ!」「こっちにたくさんいたよ」と草が生えているところへ連れて行って一緒に探してくれました。しばらく経つと器に入ったたくさんのダンゴムシを得意な表情で見せてくれました。一緒に探せたことが楽しかったのか、「お兄ちゃんが探してくれた」と笑顔で伝えてくれました。これからもつぼみ組の友だちとの繋がりはもちろんですが、子ども達の興味・関心や小さなきっかけから異年齢での関わりも大切にしていきたいです。



“入りたいの!”

じゃぶじゃぶ池の近くにある、大きな木の桶。子ども達には大きくて、少し深くて、なんだか秘密基地のような特別感があるようです。つぼみ組の子ども達は、いつも幼児クラスの友だちがそこに入って遊んでいる姿をよく見ています。「私も入りたいなあ」と保育者の方をみつめるKちゃん。つぼみ組の子ども達にとっては、深さがある為、桶のふちをしっかりと持ちつま先で着地しないと入ることが出来ません。「お兄さんお姉さんみたいにしてみたら入れるかもしれないよ?」と声を掛けると「ええ…できるかなあ」と不安げな表情でしたが、勇気を出して挑戦してみると「こわい」と言って足を引っ込めてしまいました。そのまま違うところへ行ってしまったので、もう諦めたのかなと思いながら見守っていると、しばらくたった後に桶の方へ戻って行きました。そしてもう一度、挑戦しようとしています。足を目一杯伸ばして…もっと伸ばして…やっとなつま先がそこにつきました。恐る恐る着地して、やっとな入ることが出来ました。憧れの桶に自分の力で入ることが出来、嬉しさなのか達成感を感じているのか、「できた〜!」と満面の笑みを見せてくれました。それからのKちゃんは、桶に友達が入ろうとすると「ここおてでしっかり持ってね」「こわいけど大丈夫!」とコツを伝えたり、お友だちと共に楽しむ様子が見られました。相手の気持ちに寄り添うような声掛けをしていました。



“担任の思い”

園庭に出る時間が増え、幼児クラスとの関わりも多くなりました。お兄さん・お姉さんの遊びをよく見て真似をする姿もよく見られます。その中でなかなか自分の力だけでは難しいこともあります。桶に入るエピソードもそうですが、「やりたい」気持ちから、少し難しいことにも勇気をもってやってみようとする姿に寄り添い、一緒に挑戦していきたいです。また、今月から水や氷を使った夏ならではの遊びを広げていきます。一日の様子などを通してたくさんの「あそび」やエピソードをお伝えしていきますのでお楽しみに!

ねらい：「興味のあるものに自分から関わっていく」

うた：「あめ」「あめふりくまのこ」

春が終わり半袖の季節になりましたね。園庭では水遊びや泥遊びを異年齢で楽しむ姿がよく見られています。水遊びの楽しみ方は子どもによってそれぞれ違い、じゃぶじゃぶ池で全身を使ってダイナミックに楽しむ子や、色水や料理作りで楽しむ子もいます。日々を過ごす中で保育者が子ども達に様々な遊び方を教わる事が多いほど、遊びを見つけるのが上手ないぶき組です。

～きゅうりとトマトを植えよう！～

ある日いぶき組の子ども達に、いぶき組で「お野菜育てるとしたら何がいい？」と聞くと、多く声が上がったのがきゅうりとトマトでした。数日後、いざ苗を目の前にすると、「なにになにー??」「これうえるの？」と興味津々の子ども達です。プランターに植えることを伝えて、まずはみんなで軽石探しから始めました。「〇〇くんめっちゃもってきたね～!」「〇〇ちゃんのいしはおおきいね!」とそれぞれの石を見比べながら、バケツの中に次々と集めてくれました。「次は土を入れないとだね～」と言うと、我こそ



は、、、!とみんながスコップを手にし、一生懸命土をプランターに移し替えてくれました。子ども達のおかげですぐいっぱいになった土にきゅうりとトマトの苗を植え、仕上げに順番にジョウロで水やりをしました。「げんきにそだつんだよ!」とみんなでおまじないをし、その次の日から、子ども達自身が水やりをしてくれました。果たして夏に美味しいきゅうりとトマトが食べれるのでしょうか、、、?!収穫を楽しみにしながら観察していきます。

～生き物大好き!～

保育園には様々な生き物がありますが、中でも最近いぶき組の子ども達に人気なのは、園庭にいる2匹のカメのもりぴーといっちゃんです。子どもに「どっちがもりぴーでどっちがいっちゃんかわかる?」と尋ねると、「いっちゃんはおおにわかいろのせんがあるんだよ!だから、、、こっちがもりぴー!」と得意げに教えてくれます。触りたい!餌あげたい!と人気のあまり「どいてよ!みえないよ」という声も聞こえますが、「みんなでみようよ」と優しい声も聞こえてきます。観察を楽しむ中で、亀が顔を出したり引っ込めたりするのが気になるらしく、「おーい、こっちみてよ～」と手を振っています。によきと顔を出し、カメと目と目が合った時には「いまぼくのことみてたよね??」と嬉しそうな子ども達です。これからももりぴーといっちゃんとの触れ合いや観察に加え、生き物との関わりを楽しんでくれたらと思います。



“担任の思い”

毎日を過ごす中で子ども達は一人遊びから友達を意識してきました。友達と喧嘩をした時には「あやまりたくない」という感情も芽生えるようになりました。どうしてかを尋ねると、その子は恥ずかしいからと答えました。「ごめんね」と素直に相手に伝えるのは大人になっても勇気のいることだと思います。その裏に秘めている感情もしっかり受け止め、気持ちを代弁したり共に言葉にすることを大切にしていきたいです。

小城 美紗

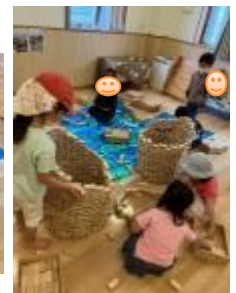
ねらい：『保育者や友達と一緒に考えてみる』『自由に表現してみる』
うた：『あめふりくまのこ』『あなたはどんな人がすきですか』

5月の中旬からピーマンとパプリカを植えはじめました。水やりをしながら「今日は大きくなった？」と指で長さを見たり、顔を近づけて小さな実をじっくり観察したりと毎日少しずつ成長する様子を楽しく見守っています。子どもの楽しい・不思議を見つける力、知りたいたいと思う気持ちに毎日驚かされます。様々な発見と一緒に探しながらときめく瞬間を大切にしていきます。



“大蔵海岸を作ろう！”

バス遠足では大蔵海岸公園に行きました。膝くらいの深さの水に驚いたり、海藻で転ばないように慎重に歩いたり、じゃぶじゃぶ池とは違い真剣な表情で海水の中へ…。そっと岩陰の石をのけるとカニの赤ちゃんがでてきました。2mm ほどのカニの赤ちゃんに「こわーい」「手はさまれるよ」と騒いでいた子どもも手の上に乗せてもらったりするうちに「みて、さわれた～」と嬉しそうでした。たくさん遊んだ後、日向ぼっこで体をあたため、手作りのおいしいおにぎりを食べ満足そうでした。楽しい時間はあっという間に。自分でしっかり体を拭いて帰り支度。様々な体験を終えバスに乗った瞬間ウトウト…。楽しくワクワクした1日でした。



先日から岩あそびを再現して部屋の中で海岸づくりや水あ

そびごっこが始まりました。大蔵海岸の写真を見ながら友達と協力し「楽しかったね、また行きたいな」と話を弾ませていました。これからも子どもたちが様々な経験ができるように計画していきます。

“大きくなってね、さつまいも”

いぶき組と一緒にさつまいもの苗を植えました。さつまいもの苗を見た子どもたちは「これ何になるの」と興味津々でした。図鑑を持ってきて様々な種類のさつまいもがあることや育て方などを一緒に調べました。苗を見ると「下の方が赤いよ」と色の変化に気づく子どもや「どんな匂いだろ」と匂いを楽しむ子どももいました。はまグループとかぜグループに分かれて苗を植えて優しく土を掛けてくれました。水やりの後「おおきくなってね」と優しく声を掛ける姿もあり微笑ましく感じました。植物が大きくなるおまじない「ずんずん体操」を教えると照れる子ども達も多かったですが、保育者と一緒に元気よく「ずんずんずん、どんどんどん」と何度も声を掛けました。「さつまいもができたら焼き芋にする？」と食べることが楽しみで笑顔が隠し切れない子ども達でした。これから毎日お世話をしながら、子ども達と成長を感じられるように見守っていきたいと思います。



“担任の思い”

友だちが挑戦している姿に憧れをもち、一緒に考え遊び始める。真似されることに嬉しさを感じて、方法を教えようとする時もあるけれど、真似しないでと葛藤する場面も見られます。お互いに話を聞き合う、伝え合うことで優しさや思いに気づけるように関わっていきたいと思います。また普段の生活の中でも、それぞれの考えや経験を一緒に過ごすことで沢山の“気づき”が見られます。気づきを見つけた時の喜びや楽しさを感じた瞬間、思うようにいかないかったときの葛藤など様々な経験を通して、自分の気持ちや友だちへの気持ちに考えることができるよう、子どもたちのやりとりを大切に過ごしていきたいと思います。松岡 桃花

～だいちぐみ～

ねらい：「発見や、新しいことを知る楽しさを味わう」

うた：『だから雨ふり』『ぱんのマーチ』

じゃがいもを植え始め、水やりやぐんぐん体操をしながら野菜や果物に興味がでてきました。栽培の話からパイナップルに興味をもち、種はどこにあるのか、どうやって育てたらいいのか図鑑やパソコンを使って子ども達と一緒に調べました。最近では「種集め」が流行っています。集まった種からどんな遊びが広がるのかこれから楽しみです。

～つぎはしあわせの村だ！～

バス遠足の行き先を決める時に「ここにも行きたい」と様々な場所が出ました。1つの場所に決める話し合いの際に「本当はしあわせの村に行きたいけど…バス遠足は大蔵海岸に行こう」と友だちの気持ちに寄り添い、自分の気持ちを伝える姿が見られました。

大蔵海岸で思いっきり自然を感じた帰り道のバスでは「次はしあわせの村に行こう」と子ども達で話が進み計画が始まりました。

少人数の中で自分の意見を話す、聞く経験になれるように“行き方を調べるチーム”“持ち物を考えるチーム”“地図から考えるチーム”に分かれ、子どもたちで考え計画してもらいました。

行き方チームは、何に乗り、何時の電車・バスに乗るのかを保育者とも確認しながら進めました。持ち物チームは、今までのお出かけを思い出し、何が必要なのか話し合いました。地図チームは、しあわせの村はどこにあるのか、どのルートを周ろうか施設の地図を見ながら話し合いました。「なかなか決まらないよ」「みんなバラバラだから分からない」と葛藤する姿もありましたが、自宅に持ち帰り、保護者の方の協力もあり“し

あわせの村に行く”のみんなの気持ちは変わりません。「じゃあ、これもいるんじゃない？」と問いかける声掛けや「ここも行きたいんだけどな…」「いいね、行こうよ」と1人の呟きに共感しながら話し合いが進んでいきました。保護者の方へのお便りづくりでは、3チームが考えた案をみんなで確認しながら書きました。

待ちに待った当日は、計画を書いた紙を1つ1つ確認しながら「今からトリム園地に行くよ」「どっちに行ったらいいかな」とみんなで考える時間があったり、「地図に書いてあったな…」と計画していたあそびを満喫しました。



満喫した帰りのバスでは、気持ちよさそうに寝ていました。「次は山がいいかな」と電車から見える景色を見ながら小さな話し合いが始まっていました。園に着くと、「ただいま！」と笑顔いっぱいの子も達でした。

お出掛けの次の日、自分達で計画した紙や地図を見て大きな模造紙に“わたし・ぼくたちだけのしあわせの村の地図”をつくりました。「これ楽しかったね」「ぼく〇〇を描く」など友だちと過ごした思い出を話しながら地図を描いていました。



“担任の思い”

ひみつのじかんでは、子どもたちが興味をもったことやお出掛け先について16人で話し合う機会をつくっています。相手の言葉に耳を傾けたり、自分の気持ちや考えを言葉で伝えることも大切にしています。種の発見や園外保育の経験から、子どもたちの中で少しずつやってみたい気持ちや子どもたち自身で調べようという気持ちが強くなってきました。保育者はそばで又は少し遠くから、子どもたち同士での関わりを見守っています。大人なら「できない」「こうした方がいい」と思うようなことも子どもが考えたことを実際に経験していく中で成功も失敗も経験してほしいと思います。そして「やってみたい」「不思議だな」「試してみよう！」という気持ちが引き出せるような関わりを意識しながら、6月を過ごしていきたいと思います。

日笠 加菜

～おやつに行こうと気持ちになるのには・・・～

「ねえ、起きて！おやつに行こうよ。」と声をかけるだいち組の友達がいまいた。しかし、目覚めてはいますが顔を伏せて、まだ横になっていたといぶき組の友達の様子。ペアのいぶき組の友達と4月から関わり、午睡後目覚めてから、起き上がるのに少し時間があることをだいち組の友達は、日々感じていました。急がせて起こすのではなく、どうしたらいぶき組の友達が気持ちよく起きて、おやつに行きたくなるか自分なりに考えていました。そして、横になっている周りをだいち組の友達はくるくる回り、笑ってくれるかなと変顔をやって場を和ませていました。自発的にそして、だいち組の友達は、本人も楽しみながらいぶき組の友達と関わっていました。その後、いぶき組の友だちの気持ちが整って起き、ペアで一緒におやつを食べに行きました。ペアの友達が自分のことを受け入れて、待ってくれた、何だか嬉しいなときっと、いぶき組の友達はその雰囲気を感じたことと思います。



～作ったことあるからやり方知っているよ！～

ある日、いぶき組の友達が保育者のところに「ボンポリ作りたい！」と話にきました。これまでひかり組、だいち組の友達が毛糸で丸い飾りを作っていた姿をよく見ていたのです。必要な物をし、どうやったらボンポリになるのか「やって、やって」とはじめは保育者と一緒に作り始めました。そこにひかり組の友達が近くに来て、「作ったことあるからやり方知っているよ！」と得意な表情で話しかけてきました。「手に毛糸をグルグルたくさん巻いてから結ぶの。」「そしたら、輪っかのところを切るんだよ。」と手順を伝え、いぶき組の友達の隣で教えていました。どこが輪っかになのか探していると、「ここだよ」と指差し、紙と違って切るのに少し戸惑っていると、「貸してみて。」と一つ試しに切ってやり方を伝えていました。すると、いぶき組の友達は、ひかり組の友達に「次はどこ切るの？」と聞きながら作り、ひかり組の友達は、最後まで見守っていました。伝える嬉しさ、教えてもらう嬉しさがボンポリ作りのなかで見られました。



“担任の思い”

ペアの友だちとの関係が、お互いに特別な存在になってきています。ペアの友達がどんなことが好きなのか、少し苦手なことも分かってきています。目覚めてからすぐ動くのは、大人も苦手な人がいると思います。どうしたら、起きようという気持ちになるか考え、場を和ませようとした姿は、ペアの友達のことをよく見て関わってきたからこそ、できたことだと思います。

園庭でペアの友達と一緒に遊ぶ姿も見られました。その時の2人は、お世話した、してもらったというのではなく、同じ遊びと一緒に心から楽しむ関係でした。その姿を見て、異年齢の関わりが深まっているように感じました。ペアそれぞれの姿を見守り、異年齢との関わりを通してお互いを認めるとはどのようなことなのか、保育者も一緒に考えていきたいです。

～先生のメッセージ～

4歳と10ヶ月の2人の息子たち。とにかく優しい慎重派の長男と好奇心に溢れている力強い次男。口が達者な長男とぶつかることもしばしば。日々家事に仕事に育児に、やることはたくさんあり、何とかこなすように1日過ごしていますが、ふと、その「やること」に追われて子どもを怒ってしまうこともたくさんあります。そんな時に実の母に、「そんなにちゃんとさせようと思わなくても、子どもたちはママとパパを見てるからできるようになる。だから、1日ぐらいしなくても大丈夫じゃない？」と言われ、はじめは、「いや、今しっかり教えとかない」と思っていました。ですが、お出かけをした時に4歳になったばかりの息子のトイレに付き添うと丁寧に手を洗い、石鹸が蛇口に付かないように気にかけて全て終わると私のところに手を拭きに戻ってきました。本当に子どもは言葉で口うるさく教えるよりも1番身近な大人が背中を見せるのが大切だと改めて気付かされました。子どもを信じて黙って見守る期間も必要なんだなあとの育兒を見つめ直す機会になりました。

いくら保育士でも我が子を育てることは保護者の方たちと本当に一緒です。保育士だから家の中でも歌って踊って穏やかに…とはいかず、みなさんと同じように試行錯誤しながら子育てと向き合っています。寝る前には子どもたちに「ありがとう」の言葉をかけると同時に1日頑張った自分たちにも「よく頑張った、えらい！」と褒めてあげてくださいね。自分の頑張りは自分が一番分かります。たくさん褒めてまた明日の活力に変えて日々一緒に頑張しましょう！

宝田 聖美

園庭で遊んでいると「ケッケッケケ…」と鳴き声が聞こえてきます。声のする方を探してアマガエルを子どもたちが捕まえて観察しています。小さい頃は、祖父母の家の庭でカエルを見つけては、捕まえて遊んでいましたが、いつからか触るのは苦手になりました。きっかけが何かあったのか、覚えていません。「おなかプニュってしていて可愛い。」「わたしも、ぼくも触りたい。」と言葉が聞こえてきます。

私は、少しカエルが苦手ですが、子どもたちの姿を見てみると、克服したいと思うようになりました。手にカエル乗せている子に「触ってみてもいい？」と聞き、指先で少し触れてみました。この少しの触れ合いでも私の中では進歩していますが、観察している子どもたちのようにもっとカエルとの距離を縮めたい気持ちと、どこか怖いという気持ちの葛藤をしていました。すると、一人の子が「怖いんだったら、葉っぱを置いて、その上にカエルを置いてみたら？」とカエルが乗りそうな大きさの葉っぱを見つけ、わたしの手に置き、それからカエルを置いてくれました。小さな生き物の何に恐怖をもっているのかという自身への恥ずかしさ、提案してもらい少しずつカエルとの距離を縮めることができた嬉しさ、そして何より子どもたちの優しさを感じました。

これからきっと多くのアマガエルが保育園に遊びに来ると思います。少しずつ仲良くなれるよう、子どもたちに伝授してもらいながら園庭で過ごしていきたいです。

坂本春佳

保護者の方からのお話コーナー

朝の着替えが終わると、自分の服を見て「かわいいー」と確認します。母の服もチェックし「見て！お父さん！お母さんの服かわいいねー」と声掛けしています。どんどん女子になってきているなあと実感します。

また、家族の誰かが出かける時に「車に気を付けて行ってらっしゃい！」と必ずお見送りをしてくれます。親が声掛けしているところをよく聞き、マネをすることが増えてきました。良いことだけでなく悪いこともマネするようになってきている娘を見て言葉遣いを注意しなければと思う今日この頃です。

つぼみ組 あきこさん

4月から幼児クラスとなり、上の歳のお兄さん、お姉さんとのかわりが増え環境の変化に戸惑っている様子も見られます。これも成長のための大切な通過点だと思うので、家庭でもケアしながら見守っていきたいと思います。

いぶき組 ゆうこさん

昨年入園した時には、園の中で最年少、まだおすわりもできなかった娘でしたが、園の中でたくさん刺激とたっぷりの愛情を受けて、できることがどんどん増え、喜びの一年でした。最近は言葉が増え「見て、見て！！」と見つけたものを教えてください。先日、空にかかった大きな虹を見つけ、「見て、見て、きれい！」と嬉しそうに指をさす娘。この1年の成長も楽しみです。

ふたば組 みはるさん

最近、園ではパプリカのお世話を頑張っているようです。「パプリカの花が咲いたよ」「黄色と赤色のちっちゃいパプリカができたよ」と毎日パプリカの様子を報告してくれます。パプリカはまだ食べたことがなく、「どんな味がするんだろう」と言いながら、今日もパプリカの成長を見守っています。

ひかり組 あいこさん

息子の最近の口ぐせは「早く明日になってほしい」です。早くパイナップルの種を持っていきたい！早くしあわせの村に行きたい！楽しみがいっぱいすぎて毎日忙しそうです。でも親としては、もう少しゆっくり成長してほしいな～と思ってしまいます。残り少ないかえで保育園の日々をお友達と先生とゆっくりじっくり満喫してほしいです。

だいち組 なおこさん

つぼみ組の次女は歌うことが大好きです。先日、新しい靴を買ったときは、嬉しさのあまり、だいち組の姉と一緒に、長々と自作の歌を歌い、踊り続けていました。また、最近、機嫌の良い時は、「にじ」をよく口ずさんでいます。歌詞が怪しくなってくると、姉も一緒に歌い出し、助けてくれます。

園で何をしたのか上手く話せない時には、長女が「〇〇ちゃん今日はこんな事していたよ」と教えてくれ、成長を感じています。まだまだ取っ組み合いの喧嘩をすることもあります。ずっと仲の良い姉妹であって欲しいと願っています。

つぼみ・だいち組 ちほさん

最近野球が好きで、テレビを見ながらバットを振ったり、走り回ったり。外でもキャッチボールをしています。保育園でもお友達としてきたよと聞きます。また「ママー今日ねトマトときゅうりの種を植えてきたんだ」などと、保育園でしてきたことを自分から教えてくれるようになりました。

いぶき組 かえさん

☆お台所より☆

あっという間に春が過ぎ去り、季節は梅雨に移り変わりました。

6月は気温・湿度が高く、食中毒が起こりやすい時期です。石鹸をつかって丁寧に手を洗い、食中毒菌をつけない、増やさないよう気をつけましょう。厨房でも衛生管理に十分気を付け、安全美味しい食事を作っていきたいと思います。

～食育活動～ <5月11日>



お昼ごはんにたけのこご飯を提供しました。お昼ご飯を食べた後、だいち組の子どもたちに実際に持ったり匂いをかいでもらったりしました。子ども達からは、「今日食べたたけのこだー!」、「土のにおいがする!」と興味津々の様子で、「初めて見た!」と言っている子どももいました。これをきっかけにたけのこを知り、食への興味が広がればとてもうれしいです。

<5月18日>

子どもたちにえんどう豆の豆だしをしてもらいました。

そして取ってもらった豆を使って、その日のお昼ご飯に豆ごはんとして提供しました。子どもたちからは、「豆ごはん大好きー!」、「すごくおいしいよ!」、「これ僕がとった豆だよ!」と声をかけてくれる子も多く、おかわりもたくさんしてもらえてました。旬の食材に触れるいい機会になったので良かったです。



<5月19日>



すすこ、わらびという食材に触れました。

初めて見る山菜に「なにこれ!」、「本当に食べられるの?」と初めは不思議な様子でしたが皮を剥いたり、調理されるのを見て「どんな味がするのかな?」「いい匂いがするよ!」と興味津々!食べてみると、「こりこりする!」、「ぬめぬめする!」と驚きの声がたくさん聞こえてきました。初めて見ることや食べる事などを通してたくさんの食の経験をし、その経験が子どもたちの新しい発見に繋がればとてもうれしいなと思いました。



～6月の旬の食材～

6月になるとだんだんと夏野菜が出始め、旬野菜は、しろな、ナス、オクラ、いんげんなどがあります。それらの食材を使ってしろなの和え物や肉じゃが、果物ではすいかを6月の献立で提供していきたいと思っています。これからますます増える夏野菜たちを献立にたくさん取り入れ、炒め物やサラダに美味しく変身させ、子どもたちに身も心も温まるごはんやおやつを提供していきます。おたのしみに!



健診の予定

- ・尿検査 7、8日（火・水）
検査対象 幼児のみ 年間1回
- ・月例（内科）20日（月）全園児
全園児 年間2回
- ・歯科 27日（月）全園児
年間1回
- ・耳鼻科 28日（火）全園児
ひかり・だいちのみ園内で聴力検査実施
年間1回
- ・眼科 7月13日（水）全園児
幼児クラスのみ園内で視力検査実施
年間1回

感染症での休園・クラス閉鎖について

4月より園児に感染症が出た場合、クラスまたは、フロアごとでクラス閉鎖となります。クラス閉鎖になった場合やご家族で陽性の方がいらした場合は、家庭保育で保育料（乳児クラスのみ）の返還はありますが該当 クラス以外のお休みは保育料の返還はありません。ご了承ください。

こんなことしたよ♪

5月14日のオンライン保護者会を行いました。短い時間でしたが、園でのお子さまの様子が伝わっていたら幸いです。久しぶりに表情を見ながらお話しできたことをうれしく思います。また、アンケートにもお答えいただき、ありがとうございました。

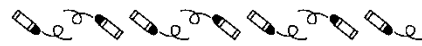
5月20日はだいち組がしあわせの村へ行きました。詳しくはだいち組のページに記載しておりますので、ぜひご覧ください。

5月28日はめばえ・ふたば組の「親子であそぼう」へのご参加、またつぼみ組以上の家庭保育のご協力、ありがとうございました。保護者の方と一緒にクレヨンや絵の具を使ってダイナミックに表現をし、素敵な作品が完成しました。玄関に飾っているので、お迎えの際に見てみてください♪



★お願い★

- ・日差しがきつくなってきました。園庭ではテントを張り、紫外線対策を行いながら夏の遊びを進めていきます。子どもたちにとっては待ちに待った水・泥んこあそびで毎日たっぷり遊んでいきます。全園児、体を拭くタオルが毎日必要となります。着替えを多めに用意いただくと共に持ち物に名前があるかの確認をお願いします。
- ・感染症の状況によって登降園の際に園舎に入館いただいたり、玄関先であったり変更することが多くなります。また、緊急時にはよいこネットですできるだけ早く情報をお知らせしています。メールでのやり取りになりますのでメールのチェックが必ずできるよう気を付けてください。
- ・園の前は駐停車禁止です。通行の妨げになるとともに園児の飛び出し等大変危険です。また、駐車場利用は短時間でお願いします。



6月の予定

- * 18日（土）同園会
・家庭保育にご協力をお願いします。
- * 2・9・16・23・30日（木）体操
- * 6・29日 絵画
- * 21日（火）誕生会

* 健診

- ・尿検査 7、8日（火・水）
対象：幼児・手紙と容器を配布します。
- ・月例（内科）20日（月）全園児
- ・歯科 27日（月）全園児
- ・耳鼻科 28日（火）全園児

7月の予定

- ・眼科 7月13日（水）全園児